



鳥取県ではコロナウイルス感染症の陽性者確認報告が連日0人と報道されています。本校でもようやく中学生を対象にした学校説明会を開催することができました。

ものづくりの世界にワクワク！



見学された中学生のみなさんには、ものづくりの意義や米子工業高校の魅力をしっかりと感じ取ってくれたことと思います。

工業高校には、中学校や普通科高校にはない大きな機械や精密な装置がたくさんあり、これらを使った生徒の作品のレベルも高く、自分たちもやってみたいとワクワクしたことでしょう。

みなさんの日常生活にはたくさんの工業製品があります。これらは特定の専門分野だけ学んでもできあがるものではありません。自動車を例に本校での各科との関係を考えてみましょう。ボディの強度設計や加工、エンジンの取り扱いは機械科の領域です。モーターで走る自動車も増えましたが、モーターやバッテリー、電気配線などは電気科の領域です。速度や走行距離などを液晶パネルに表示させたり、室内温度を一定に保ったり、カメラを活用した自動制御装置などは情報電子科の領域です。素材の再利用や排気ガスの無害化などは環境エネルギー科の領域です。疲れにくい椅子のデザインや運転しやすい室内レイアウトの設計あるいは自動車を格納する車庫などは建設科建築コースの領域です。そして、自動車ができあがっても走りやすい道路がなければどうにもなりません。ここは建設科土木コースの領域です。このように、自動車に関係する仕事をしたいと思っても、いろいろな方面からアプローチすることができます。

みなさんは何に興味がありますか？そして、どの領域からどのようなアプローチができると思いましたか？

ものづくりは多くの人の役に立つやりがいのある学びですが、みなさんの個性に合うかどうかは別問題です。自分の個性を活かす科を見つけることも大切ですが、苦痛な学校生活を過ごさないためには自分の肌に合わない科を見つけておくことも大切です。

専門高校での学びは趣味の世界でもあります。毎日の学校生活を楽しめるよう、みなさんにとってやりがいと関心のある分野をぜひ見つけてください。

校長 松川明義



機械科：加工機械の説明



情報電子科：電子回路の説明



建設科：測量機器の説明